

～世界のどこにも同じものは二つとない～
町田ならではの“価値あるもの”がそこにある

「鎌倉古道の入口」
町田市小野路地区北部。
妙桜寺近くの山林内。
その先の崖に「人馬の踏
み跡」がはっきりと残る。
最も稀少な歴史文化遺産
『中世・鎌倉古道跡』

これぞ町田の歴史大遺跡群！

“小野路&野津田”の 鎌倉街道跡の実相

～「古街道が集まる奇跡の丘」の素晴らしき歴史遺産～



講演者：
歴史古道研究家
宮田太郎

鎌倉古道・歴史遺産の会運営委員長
歴史古街道団代表
総務省地域力創造アドバイザー
日本フットパス協会理事
(株)歴史シアター・ジャパン代表

2018年

4月5日(木) 14:00～16:30 開場 13:20

町田市民フォーラム・ホール

町田市原町田 4-9-8 サウスフロントタワー 3階 TEL: 042-723-2888

小田急線町田駅東口／徒歩約8分 JR横浜線町田駅ターミナル口／徒歩約5分

■参加定員：160名 (★先着順) ■参加費：500円 (資料代)
事前申込不要・当日受付へ (13:20 受付開始)

【お問合せ】鎌倉古道・歴史遺産の会 / 今井邦知
電話 090-2323-1697 mail: i_kuninori1211@yahoo.co.jp

東京都町田市の北部丘陵地帯には、国内でもたいへん珍しい“中世・歴史遺産群”が眠っていたことが、いま次々に判明してきています。府中市から多摩市、そして町田市へとつながっていた数多くの古代～鎌倉～室町時代の「歴史古道群」。中でも、広域にわたって当時のままで遺存する「鎌倉古道跡と周囲の歴史環境」は、中世の関所跡と砦跡を含む可能性が高い、極めて貴重な歴史地帯です。この後世に遺し伝えるべき、極めて貴重な国民的・歴史遺産群について、これまで永年調査を続行してきた数多くの研究者たちとの約1500回を越える現地(小野路・野津田)探索会の成果を踏まえて実相をお話しし、観光資源化への提言もお話します。



「鎌倉古道の人馬の踏み跡と道路敷工事跡」= 町田市小野路地区北部の山林内の崖には、かつての激しい交通を物語る痕跡がはっきりと残る。※国内でも最大級の厚さを誇る。



国内最大級！推定・鎌倉古道が出現(町田市「野津田上の原遺跡」H4.2.15発掘現場見学会にて)。★当遺構は今も野津田公園北東部の土の中に埋められ保存されたままになっている。